

2020年3月16日

あおぞら投信株式会社

「難民を リスペクトする 人として オガタを迎える 国を超えるや」

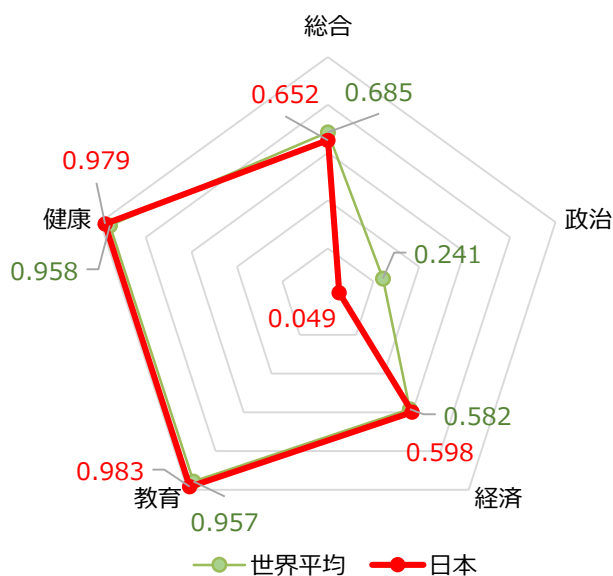
今年(2020年)は、アメリカの女性参政権が認められて100周年となることから、米Time誌が1920年以降の100年分の「今年の女性」を選出しました。その中で1995年に日本の緒方貞子さんが選ばれました。1991年から2000年に女性初の国連難民高等弁務官を務め、その時に「重要なことは苦しんでいる人に関心を持ち、行動をとることだ」と最前線に足を運んでいった彼女の功績は、世界の中でも出色の行動力にありました。

一方では、日本の女性活躍を順位で示すと、2019年12月に発表された各国のジェンダー・ギャップ指数※では、政治分野で144位となり153ヶ国中のワースト10に入るほどのレベルです。総合順位でも153ヶ国中、過去最低の121位とのことです。この状況を作っているのは、これまでの家庭の教育から始まり、学校、企業の中でも男女の役割を決めつけることの慣習に因るところが大きいと思います。社会そのものに前例踏襲からの発想が蔓延した結果、その中で暮らすために、その慣習に従うことを良しとする時間が長く続いてきてしまった、ということでしょう。個性という多様性を認める部分も、一定のカテゴリーの中での話なのか、そのカテゴリーを超えた個性なのかで随分と異なります。これからの時代では、次世代を産み育てることに役割分担が必要となり、それ以外の役割分担については社会全体でのバランスをどのように考えるかが問われます。3月8日の国際女性デーの価値は、本物の“働き方改革”を実践することで女性を含めて働く人の充実に寄与することが、社会の力を繋げていくことへと続くのだ、と考える日になると思います。

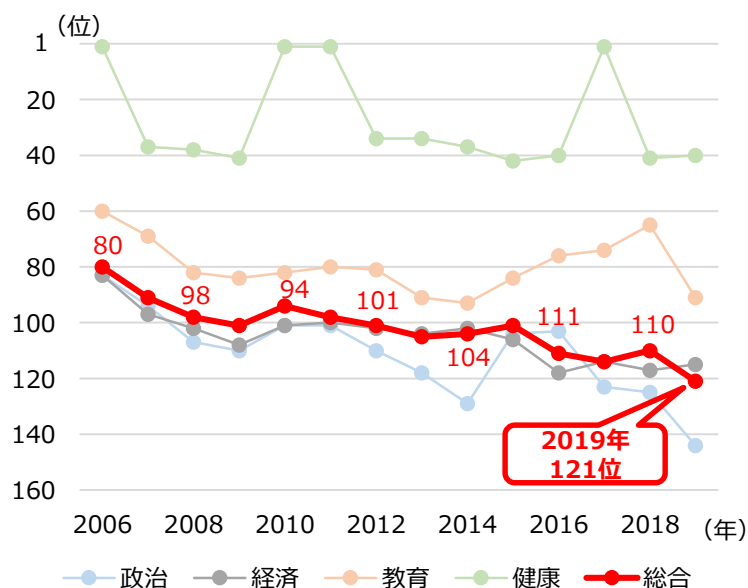
※世界経済フォーラムが毎年発表している、世界の男女格差の指数。各国を対象に、政治・経済・教育・健康の4部門について、男女にどれだけの格差が存在しているかを分析してスコア化し、そのスコアを基に各国の男女平等の順位をつける。
(指数は女性/男性で算出し、1に近いほど平等に近く、0に近いほど不平等)

柳谷俊郎

日本のジェンダーギャップ指数と世界平均 (2019年)



日本のジェンダーギャップ指数の世界順位の推移 (2006年～2019年)



※数字は総合順位の推移を示しています。

出所：世界経済フォーラムの情報を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>